

# ユニリタ、バス最適換気に コロナ感染対策システム

2021/05/17 22:46 日本経済新聞電子版 434文字

企業向けシステム構築のユニリタは、長距離バス向けに新型コロナウイルスの感染対策システムを開発した。システムは随時、バス車内の5分後の換気状況を予測し、運転士に適切なタイミングで換気を促す。地方のバス運行会社など向けに売り出す。

ユニリタによれば、バス業界で、同種の感染対策システムの導入は初めてという。バス運行の十勝バス（北海道帯広市）が導入を決めており、5月内に利用を開始する。システムは、ユニリタのグループ会社のユニ・トランド（東京・港）がシステム開発のアイネットと協業して開発した。

システムは、まずセンサーで収集した二酸化炭素（CO2）濃度のデータをクラウドで分析し、5分後の予測をバス会社やバスの利用者が閲覧するウェブサイトなどに表示する仕組みだ。この予測をもとに運転士などが車内の換気を実施することで、新型コロナウイルスの感染予防に役立てる。

システムは季節や天気、乗車人数、路線などのデータもあわせて分析できる。適切な運行便数などを導き出すことにも利用できるという。

許諾番号30082194日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報(以下「情報」)の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.